

発行日 平成 24 年 8 月 7 日

# 「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」フォーラムニュース 58号

発行：「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」 広報委員会

〒 105 - 0003 東京都港区西新橋 1 - 14 - 7 山形ビル3階

TEL 03 (3504) 9800 FAX 03(5157) 3180

E-Mail [esm-hq@eco-texj.co.jp](mailto:esm-hq@eco-texj.co.jp)

季夏の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

フォーラムニュース 58 号をお届けします。

---

## 第 52 回 CSR & コンプライアンスセミナーが開催されました

---

冒頭、近藤事務局長より挨拶の後、参加の皆様から近況などご報告をいただきました。



続いて、(株)レナウンアパレル科学研究所・代表取締役社長・藤吉一隆氏より「アパレル製品の有害物質について」、主に服の安全性の現状と、国際情勢の現状、日本の今の考え方、それをするための一例としてアパレルとしての考え方について講演をいただきました。

(株)レナウンアパレル科学研究所は、「(株)レナウンの品質管理を担当している一部門であり、その一部門として創立して以来今年で 50 年を迎えている」。50 年前の昭和 37 年は、家庭用品品質表示法が制定された年。同社は以降、コンプライアンスと CSR、消費者に対する品質保証に取り組んできています。



日本繊維産業連盟（織産連）は今年3月に、「繊維製品に係る有害物質の不使用に関する自主基準」を発表しています。藤吉社長は世界の化学物質管理規制について、GHS、CLP、REACHなどがあり、GHSは化学物質の分類及び表示に関する世界調和システムで、日本でも導入。CLPは、EUにおいて2008年12月31日に公示された物質と混合物そして火薬等の爆発性のある成形品の分類、表示および包装に関する規則で今世界標準になっており、日本も導入しようとするようになってきていると語りました。REACHは、欧州域内での化学物質の登録、評価、認可及び制限に関する規則。化学物質を登録することが目的ではなく、化学物質を管理してどうやって使い、どう管理するかということを表しています。化学物質のリスク、有害度はハザードが低くても長い間つかればリスクは上がる。欧米はリスク評価している。欧州では使えるが日本では使えない物質も出てくる場合もあるようです。

日本のアパレルの国内市場規模は、10兆円ほど。アパレルの事業規模は約2万事業所あります。製品輸入が減少する半面、生地輸入が増えてきているようです。ここでの問題は、安全性を確保するにはどうしたらいいのかということで、原産国表示の問題があり、07年にカシミヤの問題が出てきたこともあって、08年に「輸入繊維製品の品質ガイドライン」を織産連で発表しました。藤吉社長は、「複雑なアパレルの商習慣があるが、自分のところは自分で責任を持つ。その責任を次に渡してほしい。それを受け取った方も、それが本当かどうかをチェックする。受け取った方が今度は責任をとる」と主張。以前は、作ったものや表示を間違えたものが悪いとされていましたが、新たに売ったものも悪いとされることになりました。その典型がカシミヤ製品の原産地表示の間違いであり、商社、アパレル、流通に対して排除命令がくだったのが典型的な例です。

藤吉社長は、アパレルとしての服の安全に対する考えとして、その目的を安心安全の商品だけを出すのではなく、魅力ある商品を消費者に提供することこそが第一義。それに当然ながら「安心安全の付いた商品を提供することがアパレルの役割」と主張しています。それをするためにどうしたらいいのかですが、法律の問題、契約の問題などがありますが、例えばコンプライアンスをみますと、法律の問題だけではなく、お客さんに対して一定水準の品質保証をする。それがすべてであった上での対応になります。「輸入繊維製品の品質ガイドライン」では、企画段階のアパレル、生産段階の縫製工場、流通段階の商社、販売段階の小売りと役割や注意点、取り組みの仕方などを個々に述べています。藤吉社長はそれらをベースに、アパレルでは調達する所、作る所、売る所を含め、「品質管理の仕組みを変えていかなければ日本のアパレルはなくなってしまう」と強調しました。そのため、「消費者に安全・安心な商品を提供するための製品設計と品質確認、品質基準の設定や、法令・社内基準の遵守、自社に適合した品質管理システムの構築など」の必要性を繰り返し訴えました。



講演のあと、参加の皆様と質疑、ディスカッションが行われました。



---

<お知らせ>

- ・ 第53回セミナー 2012年9月13日木曜・14:30~  
日本環境設計 代表取締役社長 岩元美智彦氏 による講演を予定しております。
-